

本学は日本最北の国立大学として、北見市に立地しています。豊かな自然に囲まれた環境において、「自然と調和するテクノロジーの発展」をキーワードに、特色ある研究を推進しています。

北見工業大学

高等専門学校学生対象 インターンシップ募集

- 対象：高等専門学校本科4年生・専攻科生
- 期間：令和3年7月～9月の1・2週間程度
- 費用：研修料は無料
往復旅費・宿泊費について補助あり※
- 申込：『北見工業大学インターンシップ受入申請書』
に必要事項を記載のうえ『インターンシップ
推薦書』を添えて、以下の申込先に送付して
ください。
- 申込期限：令和3年6月18日（金）
※本学取扱いに基づきます。募集要項で確認してください。

—機械電気系、社会環境系、情報通信系、応用化学系—
各種プログラムを御用意しています。
詳細は募集要項で確認してください。

【札幌駅よりバスをご利用の方】
札幌バスターミナルより
都市間バス「ドリーミントオホーツク号」にて
4時間 35分

【札幌駅よりJRをご利用の方】
札幌駅より
JR「特急オホーツク号」にて
4時間 30分

【飛行機をご利用の方】
女満別空港より
空港連絡バスにて
約40分

- ・地球環境工学科
エネルギー総合工学コース/環境防災
工学コース/先端材料物質工学コース/
地域マネジメント工学コース
- ・地域未来デザイン工学科
機械知能・生体工学コース/情報デザ
インコミュニケーション工学コース/
社会インフラ工学コース/バイオ食品
工学コース/地域マネジメント工学
コース

令和3年度高等専門学校学生インターンシップ募集要項

本学では、高等専門学校の本科4年生及び専攻科学生を対象に、以下のとおりインターンシップの参加者を募集します。

受 入 先：北見工業大学各コース等の研究室

対 象 者：高等専門学校本科4年生及び専攻科学生

受 入 期 間：7月下旬から9月下旬までの間の1～2週間程度（実質5～10日）を原則とします。詳細は申込先までお問い合わせください。

研修テーマ等：『令和3年度高等専門学校生インターンシップ募集一覧』のとおり

費 用：

- ・研修料は無料とします。
- ・往復旅費（居住地⇄北見）：本学取扱いによりJR・バスを使用する場合全額本学負担。（航空機は含みません）
- ・宿泊費：北見市内のホテルを利用する場合は3,000円/泊を支給。
- ・参加する学生は各自で必ず、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険、またはそれに準じた保険への加入を済ませてください。

申 込 方 法：『北見工業大学インターンシップ受入申請書（別紙様式1）』に必要事項を記載のうえ『インターンシップ推薦書（別紙様式2）』を添えて、以下の申込先に送付してください。

申 込 期 限：令和3年6月18日（金）

申 込 先：〒090-8507 北海道北見市公園町165番地
北見工業大学 学務課 学生支援室 進路選択支援担当
TEL:0157-26-9315 FAX:0157-26-9186
E-mail: gakusei07@desk.kitami-it.ac.jp

令和3年度 北見工業大学 高等専門学校学生インターンシップ 募集一覧

テーマ番号	受入学科	コース名	受入教員	実習テーマ	研修内容	対象学生	留学生	受入時期・期間	備考
1	地球環境工学科	エネルギー総合工学	田村 淳二 教授 高橋 理音 准教授 梅村 敦史 准教授	再生可能エネルギー電源を含む電力システムの計算機シミュレーション解析	電力系統シミュレータPSCADを利用し風力発電などの再生可能エネルギーシステムを有する電力システムのシミュレーション実習を行う。	電気工学系 1～2人	可	8月上旬～9月下旬 (実質実習期間5日)	
2	地球環境工学科	エネルギー総合工学	林田 和宏 教授	ディーゼルエンジンの燃料噴霧解析に関する実習	ディーゼルエンジンの燃料噴射装置を用い、インジェクタから噴射される燃料噴霧に関する各種実験・解析を体験します。実習は大学院生のサポートのもと行います。	機械工学系 1人	応相談	8月～9月 (実質実習期間5日)	作業服を持参してください。
3	地球環境工学科	エネルギー総合工学	森田 慎一 教授 羽二生 稔大 助教	テーマ1、テーマ2のいずれかを実習します。 【テーマ1】 伝熱システム(蓄熱装置、冷凍機など)の最適化解析 【テーマ2】 風力発電用マグナス風車翼の性能評価	実験または解析ソフトウェアによるシミュレーションを行います。 1日目 研究紹介と研究内容説明 2日目 実験の準備と実施、または3DCADによる解析モデルデータ作製 3日目 実験データの整理、または熱流体解析ソフトによるシミュレーション 4日目 実験データまとめ、または計算データまとめ 5日目 パワーポイント発表資料の作成、成果発表会	機械工学系 2人	応相談	8月～9月 (実質実習期間5日)	専攻科生で10日間希望のときは相談下さい。 実習中は、感染防止マスク着用が必須。作業服、研究ノート(手帳、ルーズリーフなど可)、筆記用具を持参すること。実験をする場合がありますので、動きやすい服装で運動靴(サンダル不可)を着用して下さい。
4	地球環境工学科	エネルギー総合工学	松村 昌典 准教授	実験流体力学に関する実習	風洞による乱流計測実験、水路による流れの可視化実験、風車やサイクロン集塵器のような流体応用機器の開発研究などの体験(具体的内容は応相談)	機械工学系 若干人	応相談	8月26日～9月6日 (実質実習期間4～5日)	
5	地球環境工学科	環境防災工学	川口 貴之 教授 中村 大 准教授 川尻 峻三 准教授	地盤構造物や地盤防災技術に関する調査・研究の体験	屋外での実物大実験や地盤構造物の動態観測、屋内での解析や模型試験など、研究室で行っている日常の研究活動の体験 (https://kit-geosphere-engineering.com/)	土木・建築学系 3人 環境都市工学系 3人	可	8月～9月 (実質実習期間は応相談)	作業服持参が望ましいです。
6	地球環境工学科	環境防災工学	八久保 晶弘 教授	メタンハイドレートの人工生成実験と試料の純度評価	メタンハイドレートを人工的に生成し、試料の純度に何が効くのか(温度、圧力、反応面積、etc.)を調べます。	化学・物質工学系 若干人	可	8月～9月 (実質実習期間5日)	上履きを持参してください。

令和3年度 北見工業大学 高等専門学校学生インターンシップ 募集一覧

テーマ番号	受入学科	コース名	受入教員	実習テーマ	研修内容	対象学生	留学生	受入時期・期間	備 考
7	地球環境工学科	先端材料物質工学	服部 和幸 准教授	糖質の化学と工学	糖の化学反応や合成を行い、分子構造を解析したり物性を調べる。 実験・実習を実施。	化学・物質工学系 若干人	応相談	8月～9月	化学を学習したことのあること。有機化学に興味があれば望ましい。
8	地域未来デザイン工学科	機械知能・生体工学	河野 義樹 准教授	数値シミュレーションを用いたモノの変形解析実習 (具体的なテーマについては要相談)	1.対象学生と面談の後、研究テーマ(数値解析対象)を決定 2.研究に必要な知識の学習 3.研究室に所属の学生と混じって研究を実施 4.ゼミへの参加体験 5.成果報告のプレゼンテーション	機械工学系 2人	応相談	7月～12月 (実質実習期間は応相談)	実習期間は要相談 (高専の単位取得条件等の都合に合わせます)
9	地域未来デザイン工学科	情報デザイン・コミュニケーション工学	榎井 文人 教授	(1) カーリングの分析システムを使ったスポーツ工学の実習 (2) 観光情報学のためのコンテンツ開発の実習	(1) アルゴグラフィックス北見カーリングホールに設置されている競技力向上支援システムを使った競技者情報の収集と分析を体験する。 (2) インターネットを介した観光行動を測定分析するためのコンテンツの設計と開発を体験する。	情報工学系 若干人	可	7月～9月 (実質実習期間7～14日 応相談)	(1) 防寒着を用意すること。 (2) ノートPCまたはタブレットPC持参を推奨する。 ※ 留学生の場合は、英語または日本語でコミュニケーションが可能であること。
10	地域未来デザイン工学科	社会インフラ工学	井上 真澄 教授 崔 希燮 准教授	各種コンクリート材料の物理・化学的性質に関する研究の体験参加	低温環境下での強度発現に優れるコンクリートや産業廃棄物を有効利用したコンクリートなどの実用化を目指した研究を行っている。各種コンクリート材料の物理的・化学的性質を把握するための様々な試験を通じて研究を体験する。	土木・建築学系 2人	応相談	8月～9月 (実質実習期間5日)	できれば作業着を持参ください。
11	地域未来デザイン工学科	バイオ食品工学	佐藤 利次 教授	食用きのこの培養と酵素活性の測定、及び遺伝子解析等、あるいは、キノコ発酵農産物のポリフェノール量測定と抗酸化活性測定	シイタケ等の食用きのこの培養し、培養液中のラッカーゼ活性測定とタンパク質量の測定を行う。遺伝子解析に関しては、PCRによる遺伝子の増幅とその確認や大腸菌の形質転換、プラスミドDNAの調製と確認など。あるいは、キノコで発酵させた農産物(豆類、ふすま、ヌカなど)のポリフェノール量や抗酸化活性を測定する。	機械工学系、電気工学系、電子制御工学系、情報工学系、化学・物質工学系、土木・建築学系、環境都市工学系 合計で若干人	応相談	8月18日～9月30日 (実質実習期間5日)	白衣あるいは作業服、及び上履き持参が望ましい

地球環境工学科・地域未来デザイン工学科 地域マネジメント工学コース 今年度募集なし

○高等専門学校学生インターンシップ受入実施要項

平成25年 3月26日
一部改正 平成29年 6月20日
学 長 裁 定

(趣旨)

第1条 この要項は、北見工業大学（以下「本学」という。）において高等専門学校学生のインターンシップ（実習）受入に関して必要な事項を定めるものとする。

(実習対象者)

第2条 本学において実習を行う対象者は、学校教育法に定める高等専門学校の学生（以下「学生」という。）とする。

(実習期間)

第3条 インターンシップの実習期間は、原則として2週間以内とする。

(受入申請及び承認)

第4条 学生は、インターンシップにより実習しようとする場合、北見工業大学インターンシップ受入申請書（別紙様式1）に北見工業大学インターンシップ推薦書（別紙様式2）を添えて、別に定める期限までに、学長に提出しなければならない。

2 本学は、申請書を受理したときは、当該実習の能力が十分にあると認められる者について、本学の業務に支障がない場合は受入を承認し、北見工業大学インターンシップ受入決定通知書（別紙様式3）を交付する。

(誓約書)

第5条 受入を承認された学生（以下「実習生」という。）は、受入決定通知書受理後速やかに、誓約書（別紙様式4）を学長に提出しなければならない。

(服務)

第6条 実習生は、実習期間は専ら所定の実習に従事し、実習目的の達成に努めなければならない。

2 実習生は、実習期間中、北見工業大学が定める規則等を守り、実習生の指導監督を担当する教員（以下「実習担当者」という。）の指導、指示に従わなければならない。

3 実習生は、実習により得た情報（公開されているものを除く。）を漏らしてはならない。

4 実習生は、実習の成果として論文等を外部に発表する場合には、事前に学長及

び実習担当者の承認を得なければならない。

- 5 実習生は、病気等のため予定されていた実習を受ける事が出来ない場合には、あらかじめ実習担当者にその旨連絡しなければならない。

(実習の中止)

第7条 学長は次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、実習を中止することができる。

- (1) 実習生が第7条の規定による服務義務に従わない場合その他実習を継続することが困難であるとき。
- (2) 実習を継続することにより、業務に支障が生じ、又はそのおそれがあるとき。
- (3) 実習の目的を達成することが困難であると認められるとき。

(受入所属長の役割)

第8条 実習生の受入を行う所属の長は、実習が円滑かつ適切に行われるよう努めなければならない。

(事故責任等)

第9条 実習生は、実習中の事故に備え、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険に加入し、実習中の事故に関しては、自らの責任において対応しなければならない。

(その他)

第10条 この要項に定めるもののほか、インターンシップ受入に関する必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この要項は、平成29年6月20日から施行する。

北見工業大学インターンシップ受入申請書

年 月 日

北見工業大学長 殿

学 校 名
フリガナ
氏 名

印

北見工業大学高等専門学校学生インターンシップ受入実施要項(以下「要項」という。)第4条第1項の規定に基づき下記のとおり申請します。

なお、インターンシップの実施に関することについては、要項の規定を遵守します。

所属学科	本科・専攻科	学科	学 年	年	
現住所	〒			性別	男・女
本人連絡先	TEL・携帯:	E-mail:			
第1希望	学科名	学科	教員名	テーマ番号:	
	希望期間	年 月 日 ~ 年 月 日			
第2希望	学科名	学科	教員名	テーマ番号:	
	希望期間	年 月 日 ~ 年 月 日			
学校責任者 連絡先	氏 名:	実習生との関係(□指導教員 □事務担当者)			
	職 名:	TEL:			
緊急時の 連絡先	氏 名:	続柄()			
	TEL・携帯:	E-mail:			

※本申請書における個人情報については、インターンシップにかかる業務を遂行するためのみに使用する。

※移動には公共交通機関を用いること、自動車・バイクによる移動は認めない。

北見工業大学インターンシップ推薦書

年 月 日

北見工業大学長 殿

学 校 名

責任者職名

氏 名

印

下記の学生は、貴学において当該実習の能力が十分にあると認められることから、北見工業大学高等専門学校学生インターンシップ受入実施要項第4条第1項の規定に基づき、推薦します。

記

(所属学科)

(学生氏名)